

アスベスト大気濃度調査結果について（平成 23 年度）



環境省は、石綿による大気汚染の現状を把握し、今後の対策の検討に当たっての基礎資料とするとともに、国民に対して情報提供していくため、大気中の石綿濃度の測定を平成 17 年度より毎年実施しており、今般、平成 23 年度の結果を取りまとめました。

概要は、以下の通りです。

1)調査地点(全国 54 地点 161 箇所)

旧石綿製品製造事業場等、廃棄物処分場等及び建築物の解体工事等の作業現場における発生源周辺、バックグラウンド及びその他の地域(破碎施設)

2)測定方法:「アスベストモニタリングマニュアル(第 4 版)」(環境省 水・大気環境局大気環境課)

3)調査結果

○過去と同一調査地点における調査結果:総繊維数濃度の幾何平均値 0.05~0.18 本/L

・発生源周辺地域(調査実施 29 地点)

総繊維数濃度が 1 本/L を越えた地点:4 地点(うち 3 地点から石綿確認)

⇒埼玉県、山梨県、京都府の解体現場:石綿繊維数濃度 0.20~4.4 本/L

・バックグラウンド地域(調査実施 16 地点)

総繊維数濃度が 1 本/L を越えた地点:無し

・その他の地域(破碎施設)(調査実施 4 地点)

総繊維数濃度が 1 本/L を越えた地点:1 地点(石綿確認)

⇒埼玉県の敷地境界の 2 ヶ所と施設付近:石綿繊維数濃度 0.04~0.16 本/L

※大気汚染防止法に基づく石綿製品製造工場に対する敷地境界基準:10 本/L

○岩手県、宮城県、山形県及び福島県における継続調査地域の調査結果

発生源周辺及びバックグラウンド地域とも、東日本大震災の被災地以外の濃度の範囲内

当社は、石綿分析に係るクロスチェック事業(日本作業環境測定協会)で空気、建材製品ともに A ランクの評価を取得しております。お困り事・ご相談事等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。

資料 2012 年 5 月 15 日付 環境省報道発表資料

化学分析箇所 守屋貴志